

氏名	廣渡祐史	部署	健康開発学科	職名	教授
研究分野	生化学、分析化学、臨床化学、動脈硬化				
学位	工学博士				
学歴	1986年早稲田大学理工学部応用化学科卒業、1996年早稲田大学工学博士取得				
経歴	1986年東ソー株式会社入社、1992年株式会社創薬技術研究所出向（国立がんセンター研究所研究員）、1994年東ソー株式会社復帰、2015年埼玉県立大学准教授、2020年埼玉県立大学教授検査技術科学専攻長、現在に至る。 2012～2015年順天堂大学医学部非常勤講師、2012～2014年名古屋市立大学薬学部非常勤講師、2014年および2020年早稲田大学理工学術院招聘講師、2016～2019年東京工科大学演習講師、2012年～北里大学大学院医療系研究科非常勤講師、2012年～女子栄養大学栄養科学研究所客員教授、				
所属学会（役職）	日本動脈硬化学会（評議員）、日本臨床化学会（評議員、リポ蛋白専門部会、編集委員会・副編集長）、日本血栓止血学会、日本化学会、日本栄養食糧学会				

【2021年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Current concept and residual issues of lipoprotein(a) determination for a cardiovascular risk factor.	共著	あり	○	Eur J Clin Invest. 2021 Nov 8:e13700. doi: 10.1111/eci.13700.	Yoshida H, <u>Hirowatari Y</u> , Ogura M, Harada-Shiba M.	2021 Nov 8
2	Clinical Significance of Intermediate-Density Lipoprotein Cholesterol Determination as a Predictor for Coronary Heart Disease Risk in Middle-Aged men.	共著	あり		Front Cardiovasc Med. 2021 Nov 22;8:756057. doi: 10.3389/fcvm.2021.756057. eCollection 2021.	Yoshida H, Ito K, Manita D, Sato R, Hiraishi C, Matsui S, <u>Hirowatari Y</u> .	2021 Nov 22
3	Association of atherogenic serum lipids and platelet activation with changes in arterial stiffness in patients with type 2 diabetes.	共著	あり		GHM open. Advance online publication: January 16, 2022. doi.org/10.35772/g hmo.2021.01028	<u>Hirowatari Y</u> , Yanai H.	2022 Jan 16
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	陰イオン交換液体クロマトグラフィによるLDL亜分画の測定	共同	第61回日本臨床化学会年次学術集会、学生シンポジウム（福岡）		岡崎航大、廣渡祐史	2021/11/7	
2	Body mass indexと冠動脈疾患リスクスコアとの関連性.	共同	第28回日本未病学会学術集会（大阪）		伊藤公美恵、平石千佳、松井貞子、廣渡祐史、吉田博.	2021/11/20	
3	Characteristics of HDL subfraction separated by anion-exchange liquid chromatography and comparison between chromatographic patterns and HDL cholesterol efflux capacity with familial hypercholesterolemia patients.	共同	The 18th international Symposium on Atherosclerosis(Kyoto, Japan)		○ <u>Hirowatari Y</u> , Ogura M, Manita D, Horiuchi M, Harada-Shiba M.	2021/10/24	

(4) その他					
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	東ソー株式会社との共同研究		液体クロマトグラフィーを用いたリポ蛋白分析に関する共同研究	研究代表者	2019/4/1~2022/3/31
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	検査機器総論	○	11	臨床検査で用いられる多種多様の機器の原理を理解することを目的とした。	
2	医科学研究法	○	2	医学研究・倫理について学ぶ新規科目である。いろいろな分野の研究者に講義をお願いし、学生の興味を高めるようにした。	
3	病態生化学	○	15	遠隔授業となる。資料を配布しレポート提出を課した。	
4	生体情報評価学		3	興味を引き起こすことを目的とした動脈硬化・メタボリックシンドロームに関する世の中の状況・問題点についての議論の時間を中心とした講義とした。	
5	医療科学研究論		4	新しいカリキュラムである。自分の専門分野であるリポ蛋白、動脈硬化、血小板に関する内容を提供し、今後研究すべき課題について議論した。	
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし				
(3) 実習					
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	生物化学分析学実習	○	30	実習の中で観察力・洞察力を養うことを目的とした。	
2	ヒューマンケア体験実習		遠隔授業	科目責任者として実習のサポートをした。	
3	臨地実習		約50日間	施設担当者として実習のサポートをした。	
(4) 論文指導					
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文		2021/4~2022/3	主指導 5名	副指導 名
2	修士論文		2021/4~2022/3	主指導（指導教員） 1名	副指導（指導補助教員） 名
(5) その他					
	名称		期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし				
4. 社会貢献活動					
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師					
	講演会、研修会、公開講座等の名称		主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	該当なし				
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等					
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称		任期
1	該当なし				
(3) ジャーナリズムでの発言					
	メディア等の名称		内容		年月
1	該当なし				
(4) その他					
	項目	相手方等	内容		期間
1	該当なし				
5. 学内運営					
	項目	内容			期間
1	学科等における委員会等	検査技術専攻長			2021.4~2022.3

2	学科等における委員会等	人を対象とした倫理委員会	2021.4~2022.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		